

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和7年度第4回岩手県公共事業評価専門委員会

2 開催した日時

令和7年9月10日（水） 13:30～15:00

3 開催場所

エスポワールいわて 3階 特別ホール（盛岡市中央通1-1-38）

4 出席委員

武藤由子専門委員長、石川奈緒副専門委員長、清水真弘委員、谷本真佑委員、松林由里子委員
（6名中5名出席）

5 議題等

（1）議事

ア 公共事業の再評価について

事務局から、詳細審議地区について、前回までの専門委員会において、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項はない旨の説明があり、異議がなかったことから、再評価地区の審議は終了となった。

＜公共事業の再評価に係る答申案について＞

全ての事業について、「県の評価は妥当と認められる」との結論に至った。

ただし、「地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）一般国道340号 和井内～押角（宮古市）」については、路線の重要性を踏まえた早期の効果発現に関する付帯意見を付すことになり、文言については委員長に一任することとなった。

イ 公共事業の事後評価結果の報告について

事業担当課から事後評価の内容について説明があり、審議が行われた。

■ 専門委員からの主な質疑、意見は次のとおり

【畑地帯総合整備事業 男神・米沢・湯田（二戸市）】

（質疑）

アンケート調査は、個人を対象に配布しているのか、一家に1部配布しているのか。

（回答）

一家に1部である。

（質疑）

回答者属性の年齢を見ると70歳以上の方が50%であり、今後何年経営を続けることができるのか気になったが、家族経営の場合は、家族の中の若い方で続けている方がいる可能性もあるということか。

（回答）

そのとおり。後継者はいると考える。

（質疑）

スライド20枚目「農道が整備されたことにより車両走行時間は良くなりましたか？」の質問に対する回答者数が27人しかいない理由について教えてほしい。

（回答）

農道を利用する方が27人おり、その方々のみ質問に回答しているためである。

(質疑)

総便益の増加の要因として、主要作物の単価や労務単価の上昇等による年総効果額の増加があるということだが、主要因は何か。

(回答)

労務単価が大きく、営農経費の節減効果によって便益が上がっている。

(意見)

障害果が減少したのは良いデータだと思い拝見していた。全体の生産量も増加していると思うが、増加量の数字があるとより事業の効果が明確となるため、今後の事後評価ではぜひ数値も入れていただきたい。

(意見)

スライド 19 枚目「農業用パイプラインの整備により品質や収量が上がった農作物は何ですか？」の質問について、実際に農家に品質、収量の向上の有無を聞く方法や、実際の収量や売上げを定量的に聞く方法もあると思う。国の計画でも高付加価値化を促すこととされており、今後方法があれば定量的に表すことも検討していただきたい。

(意見)

基準年よりも後に発現した便益を現在価値化すると値は下がるが、基準年よりも前に発現した便益は逆に上がってしまう。前回評価時と並べて計算する際、便益が下がる年もあれば上がる年もあるということで、便益の比較対象として適切かと思うところがあるので、検討いただきたい。

【道路環境改善事業（交通安全施設整備） 一般国道 281 号 大川目（久慈市）】

(質疑)

アンケートの自由回答で、歩道が整備されなかった箇所を整備してほしいという意見が複数寄せられていると拝見したが、これ以上の歩道整備の延長は考えられないか。

(回答)

本事業により、歩行者の安全性は確保されたと判断しており、歩道の整備は完了したものと考えている。

(質疑)

グリーンベルトによって安全性はどのくらい確保されるのか。

(回答)

視覚的に前よりは安全性が向上したと感ずることではしか評価を出せないのが実情である。

(質疑)

歩行空間の定義は決まっているのか。

(回答)

定義はない。本事業では、事業の協力が得られた範囲で路側帯を広げており、およそ 1.5m である。

(質疑)

グリーンベルトは歩行空間に含まれるのか。

(回答)

グリーンベルトは、サイドラインから外側の舗装の幅を着色し、車道と路側帯の識別を明確にしたものであり、歩行空間には含まれない。

(質疑)

いわて県民計画（2019～2028）で歩道設置率の目標値があるが、歩道設置率に歩行空間は含まれないということか。

(回答)

そのとおり。

(質疑)

用地が獲得できないと歩道設置率が上がらないということが分かった。アンケートの自由回答で、歩行空間について早急に歩道設置を望む声があるが、用地の問題で歩道空間にしかできなかった事情は、アンケート内に記載しているのか。

(回答)

アンケートには質問のみ入れており、用地の問題については記載していない。

(意見)

アンケートに歩行空間にしかできなかった説明を記載すると、より住民の理解が得られるのではないかと。今後の参考にさせていただきたい。

ウ 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

事務局から事後評価実施計画について説明があり、事務局案のとおり了承された。

(2) 会議資料

資料 No. 1 令和 7 年度公共事業評価地区 位置図 (再評価・事後評価)

資料 No. 2 令和 7 年度公共事業評価専門委員会の審議概要

資料 No. 3 令和 7 年度公共事業事後評価調書及び説明資料

資料 No. 4 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

参考資料 公共事業の再評価に係る答申書 (案) 及び審議結果報告 (案) について

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 0 人 報道 1 社

7 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸 10 番 1 号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL : 019-629-5181 FAX : 019-629-6229

8 アドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/koukyouhyouka/1086055/1086065.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。